

## 泌尿器科ではこんな治療をしています！

泌尿器科部長 加藤 司顯



泌尿器科には若年者に多い膀胱、尿道炎から、高齢者に多い前立腺疾患など幅広い年齢層の方が受診されます。受診された方が、安心して検査、治療が受けられるよう、わかりやすい説明をこころがけて診療を行っております。排尿などに関して気になるところのある方は泌尿器科受診をおすすめいたします。

### 前立腺肥大症

典型的な症状としては、排尿時に勢いがなくなったり、排尿開始時にいきむようになっていたり、排尿回数が増えたりすることなどです。また尿を膀胱内から完全に押し切れなくなると、残尿感があらわれます。ひどくなると尿が出なくなることもあります。このような症状を自覚される場合、泌尿器科受診をおすすめします。

前立腺肥大症の治療方法は大きく内服治療と手術療法に分かれます。前立腺肥大症は QOL (quality of life; 生活の質) 疾患といわれており、まず QOL を重視し、内服治療をおこない、効果が乏しい場合や希望に応じて手術療法を施行していきます。

### 尿路結石



当院で使用している  
結石碎石装置です

わき腹の痛み（側腹部痛）、特に疝痛（せんつう）といわれる激痛が多いです。しかしそれ以外にも見目に確認できる血尿（肉眼的血尿）を契機に発見されることや、排尿困難などの症状で発見されることもあります。

尿路結石と診断され

て痛みがある場合は、迅速に痛みに対する治療を行います。一般的には痛みをおさえる座剤が有効なことが多いです。治療で痛みのコントロールがついてから、尿路にある結石をなくす治療法に移ります。結石のできる場所、大きさなどによって治療法が異なります。長径 5mm 未満の結石は自然排石する可能性が高いので、まずは排石を促す薬物療法を行います。結石の大きさが 5mm 以上の場合、当院では体外式衝撃波結石碎石術 (ESWL) をおこないます。体外で発生させた衝撃波を収束させて結石に伝え、結石を砂状に碎石する治療法です。砂状になった結石は、尿の流れとともに自然に排出されます。（ただし、巨大な結石や結石の成分によっては適応のないものもあります。）

### 前立腺癌

泌尿器科領域における癌では、わが国においても最も多い癌です。前立腺癌は症状が出にくい癌ですが、有効な血液検査 (PSA) があり、この血液検査による発見が増えています。50 歳を越えて一度も検査を受けたことがない方や、前立腺癌が心配な方は泌尿器科外来を受診してください。

前立腺癌の診断は、PSA 採血→直腸指診→前立腺生検のような流れで行っています。経直腸エコーガイド下 12 ヶ所生検を痛みのないように、希望に応じて局所麻酔もしくは無痛（静脈麻酔下）で 1～2 泊の入院で行っております。

前立腺癌の治療法として、内分泌療法、外科療法、放射線療法があります。当院では治療を受ける方の体力や生活習慣なども考え合わせ、泌尿器科、放射線科とともに治療に習熟した常勤医が治療にあたっております。



泌尿器科スタッフ